



い き い き

小 富 士 っ 子



R 6 学校便り No13

令和 6. 1 0. 2 1

四国中央市立  
小富士小学校

## 月を愛でながら…



10月17日(木)はスーパームーンが見られるはずでした。十三夜(10月の満月の日の二日前:今年10月15日)は、月がとてもきれいに出ていたのに10月17日の夜は曇っていて、月は見えませんでした。「十三夜の月は、十五夜の月の次に美しい。」とか「十三夜の月は、少し欠けているところが謙虚であり趣があって良い。」とか言われている十三夜の月が見られたのだから「まあいいか」と、スーパームーンの鑑賞は諦めていました。ところが、10月18日(金)の早朝、西の空の雲が薄っすらと黄金色に色付いているなど

思っていると、雲の切れ間から少しずつ月が現れ始めました。5時50分に月は全ての姿を見せ、奇跡的に月没ぎりぎりにスーパームーン?を見ることができました。写真を撮る間もなく、すぐに雲に隠れてしまいました。しかし、わずか5分間ですが、天体ショーを楽しむことができ、その日は気持ちの良い一日の始まりになりました。よく考えてみると、月を愛でながら、物思いにふけることができるのも平和な世の中だからこそですね。

平和といえば、ちょうど本日(10月21日)は、1966年10月21日に日本労働組合総評議会が「ベトナム反戦統一スト」を実施し、それと同時に全世界の反戦運動団体にもベトナム戦争反対を呼びかけたことに由来する「国際反戦デー(国際と付いているが、日本だけの記念日)」です。また、先日は、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞の受賞が決定しました。国際的にも日本が平和を大切にしている国であると認められたということだろうと思います。



日本では、団体によるノーベル賞受賞は初になりますが、個人では、これまでに28名が受賞しています。なんと、その内の3名(大江健三郎さん、中村修二さん、真鍋淑郎さん)は愛媛県出身です。ノーベル賞受賞者の出身都道府県別人数では、愛媛県は愛知県、大阪府の4名に次いで3番目(東京都も3名)になります。しかも、3名とも愛媛

県立の高等学校(真鍋さんは旧制中学校)を卒業しています。愛媛県の教育は素晴らしいと思いませんか。なかでも、ご存じのとおり、真鍋淑郎さんは四国中央市新宮町の出身です。小学生の頃の真鍋さんは、みんなが外に遊びに出ても、よく一人で教室に残って本を読んでいたそうです。みんなと遊ぶ時間を惜しんでまで本を読んでいたなんて、真鍋さんは本当に読書が好きだったんですね。月明りがほど良い一週間(残念ながら、天気は良くない予報)です。また、10月27日から11月9日までの2週間は、読書週間です。平和な毎日に感謝しながら、平和について想いを馳せたり、読書に没頭してみたりする、そんな秋の夜長を過ごしてみるのも、すてきなことだと思いませんか。

ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>